

# 【関節疾患に対するPRP（多血小板血漿）治療、APS（自己タンパク質溶液）治療】について

## 〈対象となる方〉

膝・肩・股関節疾患

## 〈投与内容〉

PRPまたはAPS

## 〈かかる費用〉

こちらの治療は公的保険の対象ではありませんので、当病院所定の施術料をお支払いいただきます。

関節内投与1回あたり330,000円（税込）【保険外診療】

\*投与当日に入院される場合には公的保険の対象とはならず、入院料と処置費で最低15万円程度（税別）がかかりますのでご了承ください。

1. 膝関節疾患に対するPRP（多血小板血漿）治療、APS（自己タンパク質溶液）治療とは  
PRPとは、Platelet-Rich Plasmaを略した名称で、日本語では多血小板血漿と呼ばれています。特殊な医療機器を使用して、患者さんご自身の血液から炎症を防ぐ液性の成分や、細胞や血管を元気にさせる成分などを含むPRPを抽出します。抽出されたPRPを関節内に投与することで、PRPの様々な成分により、膝関節の疼痛緩和、滑膜の炎症抑制、軟骨の分解抑制を期待した治療法です。またAPSはPRPを更に遠心分離し、治療に有効な成分を濃縮したものです。

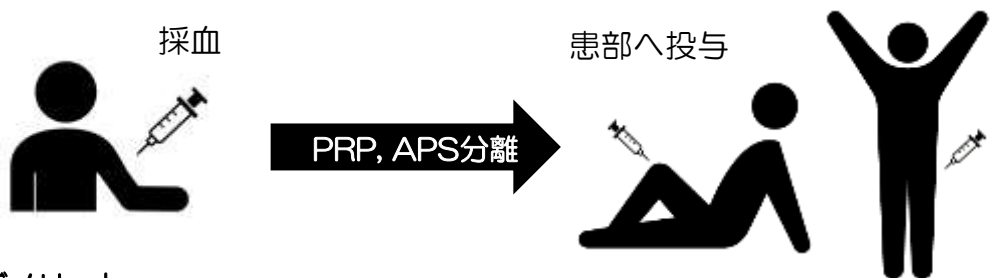
## 2. PRP・APS治療の流れ

① 採血約60mLの血液を採取します。

② PRP・APSの抽出採取した血液を医療機器にセットして遠心分離機により遠心してPRP・APSを回収します。（60～120分程度です。）

③ 投与膝関節内の浸出液を除去した後、1回でPRP・APSの全量を投与します。

治療当日の激しい運動や飲酒、マッサージなど治療部位に刺激が加わるようなことはお控えください。



## 3. メリットとデメリット

### メリット

- ・ご自身の血液成分だけを用いた治療であるため、免疫反応が起きにくいというメリットがあります。

### デメリット

- ・ご自身の血液成分を用いるため、体調や年齢などに左右され、安定した効果が出にくい場合があります（治療効果・効果の持続時間には個人差があります）。
- ・投与時、患部への注入には痛みを伴うことがあります。
- ・採血部位・投与部位に皮下出血が起こる場合があります。

詳細は整形外科担当者までお問い合わせください

## 【お問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院整形外科外来

電話：0463-93-1121